

# 飯田善國 彫刻作品の軌跡

2019年10月～2020年11月予定



円盤-Disk 1977-78年 / Screen-Canyon 1983年

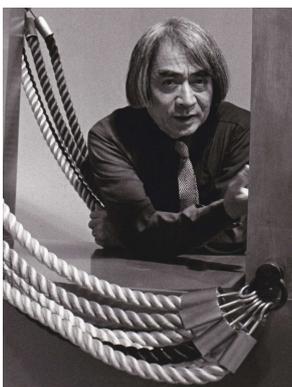


KOSMOS 1963年



HITO 1979年

## 飯田 善國 (いいだ よしくに)



飯田 善國

1923 (大正 12) 年、栃木県足利市生まれ。慶應大学高等部から学徒出陣し中国大陸へ。戦後は同大学に復学し西脇順三郎(詩人・英文学者)に師事。卒業後の1948(昭和23)年、東京芸術大学入学、油絵科で梅原龍三郎に師事。大学卒業後は個展・グループ展などで作品を発表。

1956(昭和31)年、小説家野上彌生子との縁でローマに留学しファツナーニのアトリエで初めて彫刻を学ぶ。その後ウィーンに移り1959(昭和34)年に抽象裸婦連作を描くと、本格的に彫刻に転じ、ウィーンやベルリンを拠点に活躍。1967(昭和42)年帰国。翌年の第一回神戸須磨離宮公園現代彫刻展で最高賞を受賞。木彫からブロンズ、ステンレスなどによる金属彫刻、さらに色彩と言語を独自のロジックで統合した「クロマトフィロロギア」による金属とロープの作品など、独自の造形を見せる彫刻作品で内外に広く知られる他、版画やコラージュなどの平面作品、ステンレスによる野外モニュメントも多数。1997年7月、日本経済新聞「私の履歴書」連載。2006(平成18)年・没[享年82歳]

### 館名変更のお知らせ

IIDA-KAN(館長:伊藤 光昌)は2018年7月に「TRIAD IIDA-KAN」へ館名を変更しましたのでお知らせいたします。

またあわせて、同敷地内にある「I-KKAN(株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズの研究棟)」及び「守衛棟(株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズの守衛所)」と合せた3棟の建築群「TRIAD」の運営組織を、株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ(代表取締役社長:長井 啓)から公益財団法人ハーモニック伊藤財団(理事長:伊藤光昌)へ変更いたしました。

## 飯田善國 彫刻作品の軌跡

1956年、絵画を学ぶためヨーロッパに渡った飯田は現地の美術館で本物の彫刻に出会いました。その後、自分の彫刻を探し求めて1960年頃にはたくさんのエスキースを描き、彫刻作品を作るようになりました。この頃から作品の中心は絵画から彫刻へと移り、現在では飯田善國といえば彫刻家と言われるようになりました。

今回の展覧会は、当館では初めて彫刻を中心に展示しております。素材もテーマも制作方法も、全く違う作品を作っていた飯田の、彫刻作品の軌跡を皆様と一緒にたどってみてください。

2019年10月



- 開館時間: 午前10時～午後4時・無休(臨時休館有)
- 交通: [電車]JR 大糸線穂高駅から「株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ」を目的地に タクシーで15分 [車]長野自動車道安曇野インターより20分
- お問い合わせ: 〒399-8305 長野県安曇野市穂高牧 1856-1 公益財団法人ハーモニック伊藤財団 TRIAD IIDA-KAN TEL 0263-83-6800(代) <http://www.hds.co.jp/>



**TRIAD IIDA-KAN** (とらいあど いいだかん)

20200714

AZUMINO ART LINE  
安曇野アートライン  
当美術館は安曇野アートラインに参加しています